

めだかの学校たより

平成 25 年 5 月 1 日
第 80 号
20 周年記念特別号
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL0539-62-6691

校長訓話

第八十回 校長代行 榊原 幸雄

『これまた偶然か必然か ある意味の時宜かと思うことも含めて：』

それはそれなりに、あつちこつちちちよっかいを出しながら、つみくさ摘んでみちくさしてきた互いの人生を語り合い、名目を愛でながら一献傾けるのもこれまたひとつの趣向かと存じ、それこそ「つみくさ」の御大神原幸雄氏（静岡新聞社をスピンアウトして、最近引佐町に移入したきわめて正常な文化人）の近況を伺うのもこれまた偶然か必然かある意味の時宜かと思うことも含めて「だれが生徒か先生か」のいわゆる「めだかの学校」を開校したく存じます。ぜひ入校されんことをお願いいたします。

平成 5 年 8 月 25 日
いい出しっぺ 平山豊

伊藤茂男
武井紀夫

“こんな『ご案内』で、おもしろ人立から 20 年。『めだかの便り』も、今回の号で 80 号になります。それら一号一号に時の流れや、生徒の思いや息遣いが伝わってきます。授業も時宜を得たテーマ

で、多くの生徒が先生になって自分の得意の分野を語っています。テーマや科目まで決められて、便りが届いて初めて自分が先生であることを知るといいうのです。

遠足や文化祭、阪神大震災の時にはチャリティーコンサート、20 世紀から 21 世紀に移る時には「20 世紀に足跡を残そう」とフラメンコライブ、「残した民話、残したくない民話」の授業、「21 世紀に残したい歌」を説明をつけて提出みんな歌ったり、文字数提出課題を決めての宿題など切りがない。不景気で世間が元気がないと行って、民俗歌舞団ほうねん座の「お祭りキヤラバン」を公演したり、課外活動から野外活動まで、やったのか、やらされたのか（笑）とにかくやりました。

『めだかの学校だより 第 1 号』にはこんなことが載っていました。第 1 号は「草を食する!? 冗談でしょ」という「草を食する!? 冗談でしょ」という JTB の「るるぶ静岡」、月刊誌、自然専門誌、タウン誌などいたるところに顔を出しています。

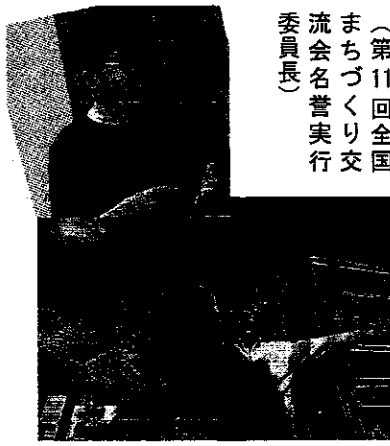
：あれから 20 年、今度は磐田市観光協会の看板男?。3 月 31 日の中日新聞日曜版（東京新聞も）に、JR 磐田駅前の樹齢 800 年の「大クスノキ」の前で、

両手を大きく広げたポーズで紙面の 3 分の 2 を使って掲載されている。いろいろな方から「見ました」と言われ、嬉しいやら恥ずかしいやら：といたって満更でもない様子でございます。

これも又、偶然か必然か、ある意味では時宜かと思えば、「めだかの学校」の 20 年間も、ある意味においては同じかも知れませんね。

それはそれなりに、あつちこつちちちよっかいを出しながら、つみくさ摘んでみちくさしてきた互いの人生を語り合い、一献傾けるのもこれひとつの趣向かと存じ、それこそ全国のまちづくりの仲間の近況を伺うのもこれまた偶然か必然かある意味の時宜かと思うことも含めて、6 月 7・8・9 の 3 日間、第 80 回めだかの学校と合同で開催される『第 11 回全国まちづくり交流会 in 遠州森町』も、これ又、同じように思えるのも不思議でならないのである。みんなで楽しみましょう。

（第 11 回全国まちづくり交流会名誉実行委員長）



別刷り 4 頁
20 周年スペシャル同窓会

めだかの学校伝言板

——第 80 回めだかの学校&第 11 回全国まちづくり交流会 in 遠州森町を開校するので出席しなさい——

実行委員長／榊原淑友
事務局長／村松達雄
副 〃／松本芳廣
事業担当／石野省三
副 〃／鈴木武史
実行委員／増田多喜男・溝口久・服部守孝・田村進治
鈴木正士・中村明男・太田康雄・渡辺三ツ子
田邊哲・天野智加志・松下信久・村田徳治
山下安範・亀澤進・鈴木真弓・大場敬子ほか
※名誉実行委員長／榊原幸雄

開校日／平成 25 年 6 月 7 日（金）～9 日（日）2 泊 3 日
会場／遠州森町 小国神社 アクティ森
20 期通年テーマ：『めだかの学校 20 年 あらたな旅立ち』
今回のテーマ：『全国まちづくり交流会～人から人へ・地域から地域へ・過去から未来へ～』
＜プログラム＞
6 月 7 日（金）17：00 受付 前夜祭
18：00 歓迎バーベキュー大会
8 日（土）08：00 森町ツアー
13：45 全体会
18：30 大交流会
9 日（日）朝食後解散 オプショナルツアー

めだかたち

■長野県天龍村の関福盛、京子夫婦 メダカと高森町のDEKO果樹園 の橋都秀子メダカを訪ねて

この二人、20周年スペシャル大同窓会
に出席する予定が共に体調を崩して欠席。
そんなこともあって、4月14日(日)と15
日(月)に訪ねることにした。4月14日
家を9時に出て、新東名浜北ICから入っ
て引佐JCTを通過して三遠南信道へ、引佐
町東黒田周辺の高速道路網がどうなっ
ているのか興味があったのですが分からな
いままに三遠南信道へ入ってしまいました
た。トンネルが多く出口の鳳来町へは10
分そこそこだったでしょうか。途中設楽町
の観光案内所で信州地域の地図をいただ
いて、阿智村の道の駅で持参のおむすびの
昼食、天龍村へ。先に関さんの家に寄ろう
と思ったが、そのまま廃校になった天龍村
坂部分校へ、廃校は改修されて立派な建物
になっていました。私たちが着いたことを
知った関さんが出迎えてくれました。時間
は午後2時すぎ。中へ入ってみると、テー
ブルにはご馳走が並んでいる。数日後に何
組か来る団体の皆さんの「おもてなし料
理」の試食会だつて。イタドリ、タラの芽、
わらび、こごみなどの天ぷら、タケノコと
わらびの煮物、みそ汁、漬物、手打ちそば
などなど。関さん夫婦の指導で初めて天ぷ
らをあげたおじさん、手打ちそばをはじめ
て打ったというこれまたおじさん、タケノ
コごはんは関さんの弟さん、関さんの娘さ
んとお孫さんら、10人ほどががんばって
作ったもの。関さんに乞われてちよつとア

ドバイスはしましたが…。景色やお話や
皆さんの人柄も料理のうち。限界集落と言
いつつも、関さんご夫妻のがんばりや人柄
の良さに多くの人が訪ねてくる。記憶をみ
れば3日ほど前に細江町の上嶋裕志メダ
カ、数日後には今村純子メダカが長野県の
食生活改善指導員の方々を連れて行くこ
う。

私たちは午後4時すぎ迷惑をかけては
いけないと次の目的地、高森町の橋都秀子
メダカのところは翌日伺うことにして飯
田で一泊することにした。JR飯田駅前の
飯田市観光協会で安い旅館を紹介しても
らう。5千円で朝食付き、昔の旅籠の雰囲気。
まアいいか、と安かった分夕食がない
ので奮発して老舗のうなぎ屋さんへ。高い
割にいまいちだった。翌朝、チエックアウ
トのあと、飯田市の町並みを散策する。ど
このまちなみも似たように郊外に大型店でき
て大幅に人通りが減少して空き店舗が増
えてきたという。高森町山吹のDEKO果
樹園へ。聞き聞き行くが「バラさんの車が
見えるヨ」と言われたのに着かない。い
やはやねえ。橋都さんのご主人が一本の木
の花を摘んでいる。梨の花粉用だつて。機
械にかけて花粉を取って受粉させること
のこと。大変だア。昼飯は五平もち。朝早く
から作ってくれて。焼きながらほうばるこ
との美味しさ。ご多忙なおふたり。午後2
時、お土産ま
で頂いて、再
会を約して帰
路に。なかな
か出席でない
メダカ生をこ
うした形で時
間をつくって
訪ねたいと
思っている。



次回は岐阜県の深草ふさどの長谷川正夫
メダカを訪ねたいと思っている。(バラ)

■正士めだか宅の

お茶摘み交流会報告

4月27日、鈴木正士めだか宅にて、毎
年恒例のお茶摘み交流会が開催された。農
業とは無縁の茶園でみずみずしく育った
茶葉や山菜を摘み、筍を掘り上げ、それら
をすくりに調理。丸太をアレンジしたテー
ブルの上には、竹皿に彩られた数々の手料理
が盛り付けられ、お仲間手打ちのそばも華
を添えた。頭上の枝では鳥たちがさえず
り、心地よい風が新緑の香りを運んでくれ
る。そんな中で、ひととき仲間との会話が
盛り上がるのは言うまでもない。

お腹を満たしたあとは、一緒に食事を楽
しんだお仲間の弦楽三重奏を鑑賞。オペラ
曲とともに、「早春賦」や「八木節」など
の日本の歌まで堪能。なんと贅沢な至福の
時間だろう！

このお茶摘み交流会が初めて開催され
たのは17年前。正士めだかのお仲間が関
東圏など遠方からも駆けつけ毎年開催さ
れ、最近では100名近くが参集する。参
加者みんな準備し、楽しみ、片付けをし
て…という時間。だからこそ、さまざま
交流が生まれ、いろんなアイデアが練ら
れ、深い想い出としてひとりひとりの心
に刻まれていく。「日常の暮らしの中にこそ
文化がある」。改めて、そう気づかせて
くれるひとときだった。

(水島加寿代メダカ)

■夢を叶える音楽塾『とらいあんぐ る』5月8日にオープン

シンガーソングライターでサンサン
ミュージックを主宰している西川裕子メ
ダカが、浜松市東区笠井町に『とらいあん
ぐる』をオープンしました。営業時間は12
時から17時、金、日、祝日が定休日。電

話053・571・3358。ぜひお出
かけを！

■洪川つじ祭り開催!

浜松市北区引佐町の天然記念物の洪川
つじが綺麗に咲きはじまりました。5月
18日から6月2日まで開催しています。
洪川つじは蛇紋岩の地質のところしか
育たず、全国的に数が少く自生してま
せん。期間中、物産展が所々「こへいもち」
や「流しそうめん」など販売します。5月
18日の洪川大好き観光大使任命式には、
掛川市横須賀の鳥山剛メダカがご夫婦で
参列しました。

■秋田県のわらび座が

磐田市のミュージカル

「おもいでぼろぼろ」公演

秋田県仙北市田沢湖に拠点があるわら
び座が、6月2日(日)午後3時から、
磐田市竜洋なぎの木会館いさだホールで、
ミュージカル「おもいでぼろぼろ」を公演
します。わらび座は民族伝統をベースにし
た表現方法をとる劇団で、昔から各地域で
実行委員会を結成して上演活動をしてい
ました。昔関わりのあった今村純子メダ
カ、榊原幸雄メダカもこの公演を応援して
います。地元だからと大島たまよメダカも
協力しています。昨年浜松で公演があり、
渡辺三ツ子メダカからも観劇していますが、
若き農業者や日本農業を応援するいい作
品です。ぜひ観劇を！。入場料は大人4千
円、高校生以下2千円、自由席です。問
い合わせは磐田文化振興会0538・3
5・7133か榊原幸雄メダカ0539・
62・6691へ。

■磐田市の探れたて元気村の食堂

「味里」は3月31日をもって閉店
となりました

長年職員会議などでお世話になった、「味里」(オーナー金原志郎メダカ)は3月31日をもって店を閉じました。金原志郎メダカの体調を慮ったことと、本当に長い間お世話になりました。いつ頃の12月28日だったか、めだかの学校の有志のみなさんが「明美さんにお世話になっているから」と私たち夫婦(バラ夫婦)のためにお礼の会を開いていただいたことはいい思い出です。なお金原メダカは少し体を休めて浜松市であらためて開業予定とか、店長は息子さん(ただいま修業中)その折にはみんなで出かけましょう。お大事にね。(バラメダカ)

■学舎みどりの郷は

3月31日をもって閉鎖しました

第79回めだかの学校は、学舎へのお礼を兼ねてはじめて日程を変えて3月2日(土)12時から開校しました。授業終了後機などの備品はオークションにかけ、1机千円で9机すべて売却しました。残りの備品である厨房の食器類などは渡辺三ツ子メダカと牧野久子メダカが片付けてくれました。大皿などはてんでんゴーしぶ川に差し上げました。残りの必要と思われるものは渡辺メダカが管理してくれています。プロパンボンベやコンロは、3月21日に石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、榊原幸雄メダカの3人で、仲田配管に返還すると共に、書類や小物などは必要なもの以外全て処分しました。最後に残された浄化槽の汲み取りは地元の牧野紀之さんに手配をお願いし終わりました。費用はやく9万円、支払い済みです。これをもってみどりの郷キャンプ場は閉鎖し、解体することです。4月中旬の学舎までの道は八重桜のトンネルで見事なものでした。ありがとうございました。

「人・ひと・ヒト」だより

●岐阜県坂祝町のそばの里深堂ふくどの長谷川政夫メダカ。「花見用に蒔いたソバが芽を出し始めました。5月中旬ごろから真っ白で可憐な花が楽しめます。今は玄関のアケビの花が盛りです」。携帯のショートメールに届きました。(※やっつやり方が分かるようになりました。返信はできません)

●磐田市の大久保陽メダカ。中遠農林事務所主催のオーブンガーデンに参加。多くの方に自宅の花模様を開放。奥さんと協力しての花づくりは見事。4月1日にオーブンガーデン前に、チューリップを見にいつてきました。今年は開花が早く期前に咲いてしまった。と、何千株のチューリップが咲き乱れていました。チューリップの球根、毎回変えるんだって。熱の入れ方も凄い。6月にはあじさいの花が川沿いの斜面に咲き競うそうです。場所は1号線磐田グランドホテルの南側善導寺のすぐ。問い合わせは0538・32・5817

●磐田市の小野泰弘メダカ。4月21日の市議選で当選。森町の町議選では、榊原淑友メダカ、太田康雄メダカ、亀澤進メダカの3名が当選しました。榊原メダカは議長に。おめでと。国会では衆議院議員の城内美メダカががんばっています。

●三重県松阪市の坂梨律子メダカから、先日中日新聞の日曜版を開けてびっくり!! 榊原さんの大きな写真が載っているではありませんか。お変わりなく「活躍の様子何よりです。めだかの学校」も20周年を迎えられ、おめでと。私の方は相変わらず松阪木綿の振興活動と自身の機織りを続けています。今年は「みえ県展」に出品。すばらしきみえ賞」いただけることになりました。※坂梨さんから松

阪木綿のコースターをいただきました。

●鳥取県倉吉市の福田京子さんより、「鳥取県地域づくりセンター」は、県の施策により3月末をもって解散することになりました。と、鳥取県の地域づくりセンターの活動は、静岡県の私たちにとつてうらやましい限りだったのに残念ですね。昨年6月に開催された全国地域づくり団体研修交流会in鳥取県大会は、第10回全国まちづくり交流会と同日になってしまい参加できませんでした。これにめげずこれからもお付き合いいただきたいですね。福田京子さんの連絡先は〒682-0914鳥取県倉吉市馬場町68の4の102(電話・Fax 0858・22・0824)。

●磐田市の大島たまメダカ。磐田市見付の旧赤松家の画廊で「葛布と暮らし」葛菜展」を5月9日(木)と5月19日(日)まで開催。

●浜松市雄踏町のアマチュアチンドン楽団「浜松花蝶ちゃん」の藤田潤吉・久枝メダカ。4月6日富山市で開かれた「素人チンドンコンクール」に出場。優秀賞に輝く。第五十九回全国チンドンコンクールの一環で、全国から約30チームが参加、2分半の持ち時間で演奏。演奏家七人の息はぴたり。出場七回で栄冠。来年は最優秀賞を目指して頑張るだつて。

●島田市の池谷俊裕メダカ、塚本佳男メダカ、喜瀬川はつ枝メダカら本場のお茶農家は大忙し。今年の出来栄はどうだろう。5月2日から5日まで島田市「お茶の郷」と牧之原市の富士山静岡空港を主会場に世界お茶祭りが開催された。磐田市も「こだわりの「いわた茶」で若手茶農家が頑張っている。

●こだわりのお茶といえば、磐田市大平の鈴木正士メダカ。消毒も化成肥料もいっさい使わず、一番茶のみ。今年4月27日に

はお茶摘み交流会もやりました。

●浜松市引佐町の鈴木計芳メダカ。生産・加工・販売と、研究熱心。「渋川茶」のおいしさをアピール。今はお茶摘みで大忙し。●磐田市の伊藤英雄メダカ。豊岡名産のえび芋の植えつけ終わったと。馬力の石野省三メダカが応援に。目の手術も成功。よく見えるようになった。だつて。

●浜松市の溝口久メダカ。5月4日まで娘さんがイギリスへ留学するので、ご家族でイギリスに。土産のお話がいっぱい聞けるかも、お楽しみに。

●森町の村松達雄メダカ。森町役場建設課から産業商工観光課へ。第11回全国まちづくり交流会では、増田多喜男課長と一緒に、申し込み受付部所を引き受けてくれました。森町の郷土の偉人村松藤三郎にほれこんで。講演会も受付中だつて。

●習志野市の市川実メダカ。地域づくりの講演会などでご多忙。「かがり火」の編集委員もやってくれています。なんと第11回全国まちづくり交流会in森町の申し込み一番のりだつて。

●浜松市引佐町にいた? 中小路太志メダカ。古いめだかの名簿を整理しながら「いまどうしているのかな」と思っていたら、浜松百撰に旅先見聞録という記事を書いていた。その中から少しだけ。「遠く山々はモコモコと笑い、野は若草色に染まる。車窓から流れる景色が早い新幹線。毎週乗る度に、身体も頭も力カチに固まってしまふ。そんな時は旅先で散策し体をほぐし、知らないものに触れて頭をほぐす。十年に渡り各地を巡回した最後の「ピースアト・ポスター展」を横浜の「ヨコハマ創造都市センター」で開く、と。

※今回は紙面の関係でこれまで。次回をお楽しみに。

トピックス

■ひよんなことから、磐田市観光案内所で「宇宙メダカ22世」を飼うことに

めだかの学校事務局では、10数年前から認定書付きの宇宙メダカを飼っています。2、3年前から消えてしまつて、それがひよんなことから飼えることに。

「それなら大阪枚方市で宇宙メダカを飼育している人がいるから聞いてみようか」と。その方、日本宇宙少年団磐田分団の副団長、話が早い。宇宙メダカ22世を11匹送つていただいて。3月末から水槽で飼育している。可愛いですよ。メスの体が大きくなつて、オスがすりよつていたので、23世の誕生も近いかも。そ、そ、それが翌朝見てびっくり。その大きなお腹のメスとオスが死んでいる。写真をとるために何回もフラッシュをたいたので、そのストロースで夕食を食べすぎて「昇天?。まいったア。そのあと昇天がつづき、残りのメダカは3匹。元気に育つて欲しい。あなたの愛が宇宙メダカの応援歌になるかも知れません。どうぞ、JR磐田駅前の観光案内所へのぞきにおいでください。

■事務局だより

周囲を見渡せば山が動いているように若草色から濃い緑へと動いていく。田植えがはじまつた田んぼからの風も心地よい。さて、第79回めだかの学校を、3月2日の土曜日12時から開校する。20年間、一度も変更したことのない開校日。この3月を以つて閉鎖する学舎へのお礼と、長く

貸していたいただいた地域の皆さんへのお礼も兼ねてやるうと敢えて変更することに。校長は松本芳廣、教頭鈴木真司、用務員山下安範。学舎最後の授業にふさわしく三人の意気もびつたり。20期通年テーマ「めだかの学校20年 あらたな旅立ち」そして今回のテーマ「ありがとう、学舎みどりの郷キャンプ場」。そんな思いが生徒の中にあつたような気がする。欠席された生徒の思いも同じだったでしょう。正午、予鈴から校歌斉唱、今回地元責任者の牧野紀之さんはじめ4名の方が出席されたので、言い出しつべの榊原幸雄メダカからお礼のあいさつ、地元の牧野さんからも使つていただいたことへのお礼のあいさつがありました。12時10分から「ありがとうパーティー」。パーティーの主役は「ラシ寿司」。渡辺三ツ子チーフの弟さんがやつている本職の寿司屋さんから取り寄せたもの。それに給食当番がつくつてくれた汁物。なんとデザートは、松本奏榮メダカが作つてくれた紅白のまんじゅう。ついつい食べてしまつた。パーティーは1時10分で終わる。来賓のみなさんはお帰りに。集落全戸の皆さんに、お礼の紅白のまんじゅうを持っていつてもらいました。1時15分、学舎最後の授業に入る。松本校長、「たより」の校長訓話にあるように、「めだか」のいるふるさとをいつまでもと、過去、現在、未来を語る。1時40分、特別授業ありがとう観音塾、「めだかの学校の20年、道草しながら」と榊原幸雄先生。キツカケは「バラさんいますか」の一本の電話から始まつたことや、第1回目は台風の余波で山は大荒れだったのに停電まがいの真つ暗な山の中の学舎に57人の人が集まり、その熱気が凄かつたことなどエピソードなどまじえて面白おかしく、時には真剣な眼差しで話す。2時40分全

員で「ありがとう」と、学舎に感謝とお礼をのべる。片づけをしたあと、3時から「めだかの学校」の備品である机、椅子、厨房器具など競売にかける。服部守孝メダカの声かけで机から始める。机9つ、申し合わせたように千円で決着。全部で一万三千円の売り上げだった。4時30分、心残りながらも帰路につきました。次回「第80回めだかの学校」は、第11回全国まちづくり交流会と合同で開催するため、実行委員会を組織して進めることになり、次期三役との握手による引き継ぎはありませんでした。これは「三役の特権」のため、21期最初の第81回めだかの学校の3役と行なうことにします。

●第81回めだかの学校は9月6日(金)午後6時20分から、周智郡森町一宮、一宮総合センターで行います。

校長 木村智子、教頭 伊藤英雄、用務員 富田久美子の三方です。3人とも知りません。この「めだかの学校だより」が届いて知ることになります。よろしくお願いいたします。

■いやア、今回は本当に参りました。ごめんなさい。

5月1日に第11回全国まちづくり交流会の開催要項と一緒に発送する予定でしたが、便りが大幅に遅れそうなので、急遽、まちづくり交流会の方のみ一足先きに送らせていただきました。事務局の判断で送らなかつた生徒がいますことお赦しく下さい。いつもお手伝いいたしています鈴木木武史メダカ、服部守孝メダカ、石野省三メダカ、小島加寿代メダカ、田村進治メダカ、本島慎一郎メダカ、観光協会事務局の坪井裕美さん、まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝いの榊原明美さん、ありがとう。

■第21期の受け付けを6月15日より始めます。

第21期は、25年9月1日から26年8月31日までです。継続希望の生徒は、同封の申し込み書に千円を添えて事務局まで申込んで下さい。締切りは8月31日までです。随時申込みを受け付けていますが、手続きがない生徒は自動的に名簿からはずれ自主退学となります。入学希望の方がいましたら事務局までご連絡ください。資料と申込書を送ります。

■めだかの学校だよりの原稿を!

あなたの関わりのある団体の活動予定や、生徒自身の活動結果などでもいいのでぜひご連絡ください。次回の発行は8月1日予定です。締切りは7月20日まで。郵便かFAXで。メールの方は、
《mabuchi-trd@y. inc. jp》
間瀬亮太090・50009・09886です。
(メールの方は割付の関係もあるので一報を。)

■めだかの学校の事務局

T438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL05
39・62・6691 (FAX同じ)
※学舎「一宮総合センター」には電話はありません。連絡は、携帯080・1612・9130へ。



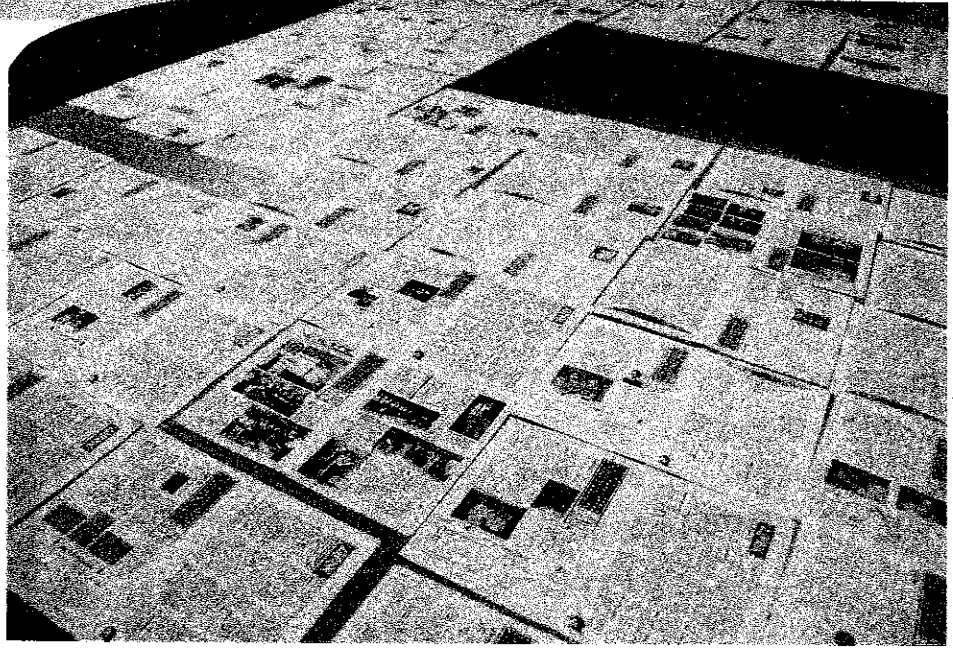
「おもいろ立」めだかの学校だより

20周年スペシャル同窓会特別号 発行 25年5月1日



♪ 気をつけ!! 校歌斉唱
 めだかの学校は川のなか
 そとのさいてみてごらん
 みんなでお有意義してるよ。
 * きりりと ほたて一瞬の
 あなたは何を思い何を
 感じたでしょうか。
 「人づから」「まわりの」されど
 「自分づから」
 * 早朝 禅は無心に...

びりりと並んだ「たより」
 同窓会に間に合た「79号」
 1号から79号まで、特集
 号まで含めると85号くら
 いになるでしょうか?
 めだか生の思いや活動
 の状況がいろいろな形
 で見えてきます。貴重な
 記録です。冊子にするこ
 とにしました。ご期待を!

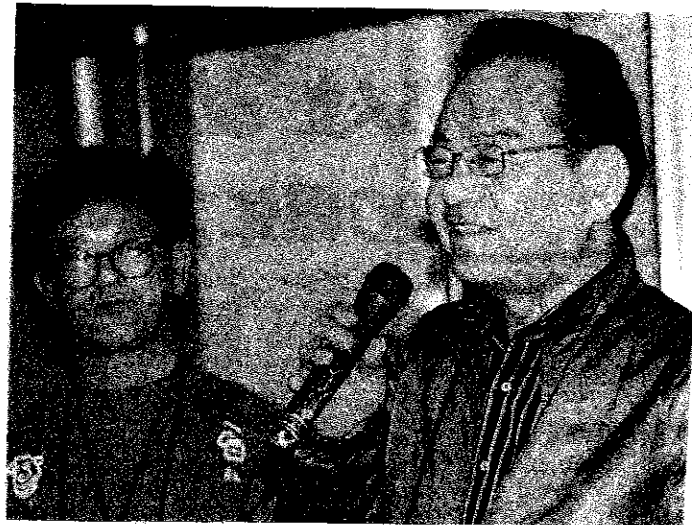


20周年スペシャル同窓会

10日(日) 臨濟宗方廣寺派大本山 方廣寺



「めでか、っていいねえ。20年の人も1年の人として楽天的で...もう1人のあなたみりけ...」



なにか前に立つの照れるね、と百橋さん



「和歌山からよく来たよ、ね」「いや、最後の晩飯...」

わるめだかたち ♪ 楽しそり、さとのさいて〜

講演として、かがり火社長 菅原敏一氏による講話をいただきました。火に寄せる思いと、これからの思いを語っていただきました。貴重であることももちろん、全国の交流の場ともなっている「かがり火」が、今後さらに開かれていくことを祈るばかりです。

交流会「あなたが主役の参加型大交流会」は盛り上がりました。ほとんどの世界でした。「楽しかった。有意義だった。時間を忘れた。」

は、上嶋常夫さん、津ヶ谷寛奈さんを招いての「果てぬ村のミナ」の眠たい目をこすりつつ鑑賞し、トークとしてお二人の制作に関するドを聞きました。

れたみなさんは、自分自身をアピールできたでしょうか。20周年のテーマは「めでかの学校 新たな旅立ち」です。過去の学びと互いの交流で得たものを糧に、未来ある「めでかの学校」を創造し、さらに交流をくことを誓い合って20周年同窓会を閉じました。ありがとうございます

めでかの学校 20周年スペシャル同窓会
実行委員長 石野 省三





「E-鈴木正士さん。楽しいね。」



「79回めだかの便利」階に合つてよかった。うん、いい。」

めだかの学校20周年

於平成25年2月9日(土)～10日(日)



「いや～みんないい顔してる。人もみな同じ。あ、けりかんとし」

めだかの学校は～



泳ぎ回わるよ

みなでお遊戯しましょう

「めだかの学校20周年スペシャル同窓会」を開催しました。

平成25年2月9日・10日 臨濟宗方広寺派大本山 方広寺にて

「人づくり 自分づくり まちづくり」にと、各方面で泳ぎ回ってきためだかも20年を迎えた。開校当時の勢いはどうしたことかと気がかりではあったが、参集しためだかたちは、歳はそれなりに重ねていたが、それ以上に学びで培った財産を蓄えためだかの多さには感服しました。

「久しぶり」という挨拶はそこそこに、「人づくり 自分づくり まちづくり」の成果と夢を互いに披露し合い、交流会は果てない時間となりました。

20年間の間、79回の開校を重ねたことの重みの裏には、数百名のめだかたちの交流があり、思いつきの特別開校があったり、学舎の確保に奔走したり、存続の危機に見舞われたりと楽しくもおかしなことが多々ありました。

無駄に20年間の流れに乗ってきたのでは無いと言うことの証が、「めだかの学校」を核として各地域や分野の中で生き生きと泳ぎ回っているめだかたちの多さにあることだと思います。

特別講演とし

「かがり火」に
な情報誌である
めだか共々、今

「夕食交流会
んど笑いの世界

2日目は、上
上映を、眠たい
エピソードを聞

参加されたみ
通年テーマは「
経験から得たも
深めていくこと
ました。

MM Em



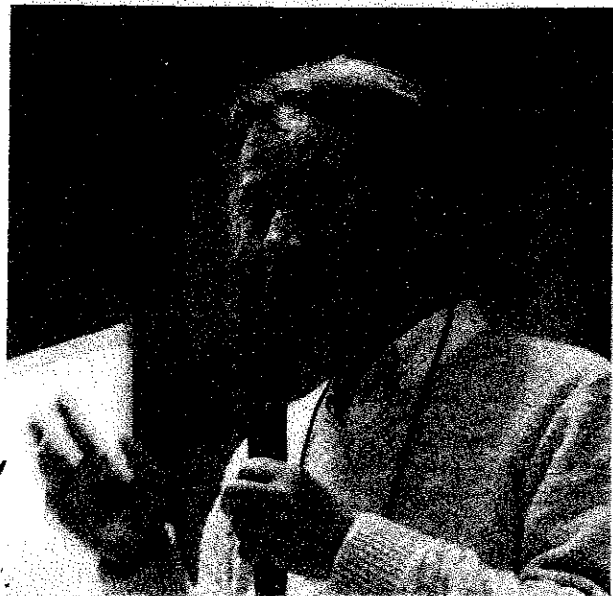
静寂のなかに響き渡る菩薩摩訶薩

お待ちかねのジ夕食 いただきます??



〇氷なんだ?! 精進料理は五感で頂きましょう!

人生は
いろいろ



めだかも
いろいろ

～熱弁の「かがり火」菅原徹一さん～



今年「ハヒ年」も会場人の持込みは多々! 恐れぬ!



「果てぬ村のミナ」上映ヒトウ。上島さんと津谷さん

見られる人はYouTubeで

うはい載せたかったのですが、

紙面の都合で、ごめんなさい。

You Tubeで見ることができま

す。アドレスは、上から順番に、5時間10分

<http://youtu.be/09-GXBeEzHI>

youtu.be/VPD9tEJzQFE

youtu.be/TN5DMzCBBzY

いまでも絶えぬとばかりで、しよ〜今日の日はいおなら...

